

日本工学院蒲田専門学校	開講年度	2019年度	科目名	ProTools実習 1	
科目基礎情報					
開設学科	音響芸術科	コース名	全コース	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	教材は必要なファイル等を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	野田 俊典		実務経験の有無・職種	有・アレンジャー、ProToolsオペレーター	
学習目的					
2000年以降ProToolsをはじめとしたDAWにてオーディオをファイルベースで記録、処理、管理することが一般的になり、音に関わるエンジニアにおいてはPCにてこの一連の作業が出来ることが必須となっている。学生は、国内外で今もっとも広く使われているProToolsを学習しデジタル音響とそれに関わる基礎的な知識を習得することにより、その後の経験を通し音に関わる様々な仕事においてその人それぞれの能力を発揮することが可能である。そして現在はもちろん将来新たな技術革新があった場合でも、より柔軟かつ適切に対応できるような人材の育成を目的とする。					
到達目標					
この科目では、学生がそれぞれのコースに分かれる前にファイルの管理も含めパソコンの使用になれることを最初の目標とする。次にProToolsの基本操作を通しオーディオファイルに関する知識、例えば量子化ビット数やサンプルレートについて学びデジタル音響について正しく理解することを目標とする。最後に学生がProToolsの基本的な操作を習得することで、専門のコースに別れたあとも違和感なくそれぞれの授業についていけるようになる事を目標とする。					
教育方法等					
授業概要	毎回一人一台のパソコンを使い、必要に応じ教員卓のモニターを見ながら実習する。基本的にはAvidの101レベルの内容で進行する。パソコンの基本から始まり、実習室のシステムを理解したあとProToolsの操作を学習する。トラックボールを使った繊細な操作をはじめロケーションやトランスポートになれストレスのない操作を習得する。ルーティングやプラグインの使用を通し、スタジオのコンソールとの相違点を理解する。				
注意点	毎回ヘッドフォンを持参する。授業に必要なファイル等はサーバーを使い配布する。欠席・遅刻・途中退出は基本的には認めないが急な体調不良などは速やかに申し出ること。授業中の携帯電話の使用や実習室内での飲食は禁止。その他、ほかの学生に迷惑になるような行為はしないように。成績は授業参加度、授業態度によって評価するが授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	100%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	パソコンの基本		Macの操作になれる、サーバーからのデータのダウンロード、ProToolsの起動と終了		
2回	Protoolsの基本		セッションデータを開き音を聴く、ProToolsの音の流れかた（チャンネルストリップ）		
3回	編集ウインドウ（1）		ツール、モードの詳細の理解（名称、機能）		
4回	編集ウインドウ（2）		トランスポーズウインドウ（及びショートカット）		
5回	編集ウインドウ（3）		音楽ファイルの編集（オーディオファイルをインポート）		
6回	編集ウインドウ（4）		マルチトラックセッションの編集		
7回	録音（1）		マイクフォンを使った録音とインターフェイスを理解する		
8回	オーディオファイル		オーディオファイルのインポートとエクスポート（サンプルレートについて）		
9回	録音（2）		クイックパンチモードにしてパンチインができる、代替えプレイリストの理解		
10回	ルーティング（1）		バスを理解する		
11回	ルーティング（2）		空間系のエフェクト処理ができる		
12回	プラグイン		プラグインをインサートしてイコライジング等をする		
13回	ミックスウインドウ		バスルーティングやフェーダー、パンについて学ぶ		
14回	オートメーション		ライト、タッチ、ラッチ、リードについて理解し操作できるようになる		
15回	まとめ		全体のまとめ		